

1991年（臨床薬剤学グループ）

原 著

- No 1 相良悦郎, 金久保好男, 北澤式文, 三田智文, 中川富士雄, 三輪亮寿:

処方支援システムにおける諸問題の検討

病院薬学 17(2): S53-S58, 1991

学会発表

- No 1 須賀 肇, 馬場泰行, 佐藤信一, 幸田幸直, 相良悦郎:

筑波大学附属病院における処方オーダーシステム

平成2年度国立大学附属病院医療情報システムシンポジウム(札幌), 1月, 1991

- No 2 吉田直弘, 宮本昌二, 武田光志, 幸田幸直, 相良悦郎, 小山完二, 山下 衛:

パラコート活性炭吸着におよぼす抗凝固剤の影響

第5回日本中毒研究会東日本部会(東京), 2月, 1991

- No 3 宮本昌二, 垣内祥宏, 幸田幸直, 相良悦郎, 渋谷 進, 吉野清高:

リンパ系有色標識としてのクロロフィルエマルションの調製とその適用

日本薬学会第111年会(東京), 3月, 1991

- No 4 清水秀行, 三田智文, 中村 均, 中村幸一, 内野克喜, 澤田康文, 伊賀立二, 幸田幸直,

相良悦郎, 内垣節夫, 五十嵐順郎:

処方せんに記載される略名に対する認識

日本薬学会第111年会(東京), 3月, 1991

- No 5 堀内 学, 垣内祥宏, 林 昭弘, 武田光志, 佐藤信一, 幸田幸直, 相良悦郎:

処方オーダーシステムに連動した自動薬袋作成システムの開発

第1回日本病院薬学会年会(東京), 7月, 1991

- No 6 原田 康, 新井克明, 住谷賢治, 武田光志, 佐藤信一, 幸田幸直, 相良悦郎:

処方オーダー・データの自動解析による一回量包装調剤の効率化

日本病院薬剤師会関東ブロック第21回学術大会(横浜), 8月, 1991

1992年（臨床薬剤学グループ）

原 著

- No 1 折井孝男, 山本康次郎, 澤田康文, 伊賀立二, 大谷壽一, **幸田幸直** :
薬物血中濃度測定結果の情報伝達システムの構築
—薬剤部における情報伝達のためのシステム構築を中心に—
医療情報学 12(1) : 17-27, 1992
- No 2 清水秀行, 清野敏一, 中村 均, 内野克喜, 三田智文, 中村幸一, 澤田康文, 伊賀立二,
幸田幸直, **相良悦郎**, 内垣節夫, 五十嵐順郎 :
処方せんに記載される可能性のある略名の薬剤師による認識調査
病院薬学 18(4) : 331-337, 1992
- No 3 住谷賢治, 馬場泰行, **幸田幸直**, **相良悦郎** :
低使用頻度薬剤の需要予測
病院薬学 18(5) : 548-552, 1992

著 書

- No 1 **幸田幸直** :
ジギタリス薬について pp.176-177
ジゴキシシン pp.178-183
ジギトキシシン pp.184-185
抗不整脈薬について pp.186-187
キニジン pp.188-191
プロカインアミド pp.192-195
プロプラノロール pp.196-199
ジソピラミド pp.200-203
リドカイン pp.204-207
アプリンジン pp.208-211
一般名と商品名の一覧表 pp.269-283
TDM 実地テキスト (大久保昭行, 齋藤侑也 編)
文光堂, 東京, 1992

学会発表

- No 1 久能英子, 原田 康, 新井克明, 武田光志, 佐藤信一, **幸田幸直**, **相良悦郎** :
処方オーダー・データと連動した錠剤の一回量包装調剤
第2回茨城県薬剤師学術大会 (水戸), 2月, 1992
- No 2 吉田直弘, 宮本昌二, **幸田幸直**, **相良悦郎** :
バラコートの活性炭吸着に及ぼすヘパリンおよびメシル酸ナファモスタットの影響
第2回日本病院薬学会年会 (東京), 7月, 1992
- No 3 鈴木 勝, 宮本昌二, **幸田幸直**, **相良悦郎** :
調剤ならびに服用時における薬剤のロス —フェニトイン製剤をモデルにして—
日本病院薬剤師会関東ブロック第22回学術大会 (大宮), 8月, 1992

その他

- No 1 山下 衛, 宮本昌二, 田中淳介, 幸田幸直, 小山完二:
パネルディスカッション: 強制利尿 – その効率向上のための対策 –
フェニトイン中毒犬における強制利尿の効果に及ぼすバルプロ酸投与の影響
中毒研究 5: 30-34, 1992
- No 2 幸田幸直:
新薬開発に思う
薬事新報 No.1685, p.283, 1992
- No 3 全田 浩, 幸田幸直:
分科会 調剤
平成4年度国公立大学病院薬剤部職員研修(東京), 5月18-19日, 1992

1993年（臨床薬剤学グループ）

原 著

- No 1 宮本昌二, 幸田幸直, 相良悦郎, 渋谷 進, 高瀬靖広:
リンパ節識別用染色化剤としてのO/W型クロロフィル乳剤の調製
病院薬学 19(1):58-61, 1993

総 説

- No 1 須賀 肇, 相良悦郎:
二糖類分解酵素阻害剤
医薬ジャーナル 29(10):2166-2170, 1993

著 書

- No 1 幸田幸直:
強心配糖体 ジゴキシン（ジギトキシン） pp.234-256
薬物投与設計のためのTDMの実際（伊賀立二, 齋藤侑也 編）
薬業時報社, 東京, 1993
- No 2 赤沢陽子, 新井克明, 加藤直人, 小山哲夫, 幸田幸直, 佐藤信一, 須賀 肇, 馬場泰行,
平山浩一:
日常会話医療用語集（桜井靖久, 清水直容 監修）
ミクス, 東京, 1993

学会発表

- No 1 高田 彰, 杉下靖郎, 大滝純司, 堀越 晃, 幸田幸直, 赤沢陽子, 久保武士, 三浦常男,
大竹健治, 廣瀬 巖, 中村寿一, 清水道夫, 小宮公俊, 郡山義文, 吉田圭寿:
病院機能の自己点検・自己評価と機能強化
ー筑波大学統合医療情報システムの基本構想と課題ー
平成4年度国立大学附属病院医療情報システムシンポジウム（京都）, 1月, 1993
- No 2 柏原亜希子, 村上牧子, 堀内 学, 馬場泰行, 幸田幸直, 相良悦郎, 滝田瑞恵:
服用損失量に与える賦形剤の影響
ーフェノバルブ散及びジゴシン散をモデルにしてー
第3回茨城県薬剤師学術大会（水戸）, 1月, 1993
- No 3 馬場泰行, 堀内 学, 幸田幸直, 相良悦郎:
フェノールグリセリン注射液の製剤評価を目的とした放出試験装置の試作
日本薬学会第113年会（大阪）, 3月, 1993
- No 4 宮本昌二, 幸田幸直, 相良悦郎:
複数種の薬物の連続測定を可能にした蛍光偏光免疫測定システム（TDXFLX™）
の評価
第3回日本病院薬学会年会（東京）, 7月, 1993

- No 5 湯沢賢治, 大塚雅昭, 石川詔雄, 深尾 立, 田中榮之介, 宮本昌二, 幸田幸直 :
腎移植後シクロスポリン血中濃度変化の特異な経過をとった1例
第8回シクロスポリン血中濃度測定研究会(名古屋), 7月, 1993
- No 6 垣内祥宏, 馬場泰行, 堀内 学, 佐藤信一, 幸田幸直, 相良悦郎, 佐藤重仁, 永沼利博,
岩井美佐, 水山和之 :
麻酔科・薬剤部合同回診の試みとその有用性
日本病院薬剤師会関東ブロック第23回学術大会(新潟), 8月, 1993
- その他
- No 1 相良悦郎 :
公的病院が院外処方箋の発行を試みた時の患者サイドの意識調査
日本病院薬剤師会雑誌 29(1) : 33-37, 1993
- No 2 柏原亜希子, 村上牧子, 堀内 学, 馬場泰行, 幸田幸直, 相良悦郎, 滝田瑞恵 :
服用損失量に与える賦形剤の影響
—フェノバール散及びジゴシン散をモデルにして—
茨城県病院薬剤師会会報 第43号 : 50-52, 1993
- No 3 佐藤重仁, 永沼利博, 岩井美佐, 水山和之, 垣内祥宏, 馬場泰行, 堀内 学, 幸田幸直,
内藤裕史 :
麻酔科・薬剤部合同回診の試み
麻酔 42(12) : 1856-1858, 1993

1994年（臨床薬剤学研究グループ）

原 著

- No. 1 宮本昌二, 滝田瑞恵, 幸田幸直, 相良悦郎 :
複数種薬物の連続測定を可能にした蛍光偏光免疫測定システム (TDXFLX) の評価
TDM 研究 11(1) : 36-40, 1994
- No. 2 吉田直弘, 宮本昌二, 幸田幸直, 相良悦郎 :
パラコートの活性炭吸着に及ぼす抗凝固剤の影響
病院薬学 20(1) : 73-78, 1994
- No. 3 馬場泰行, 村上牧子, 永沼利博, 幸田幸直, 相良悦郎, 佐藤重仁, 内藤裕史 :
神経破壊薬 (99.5%エタノール) と造影剤の配合変化
ペインクリニック 15(3) : 385-388, 1994
- No. 4 馬場泰行, 堀内 学, 幸田幸直, 相良悦郎 :
フェノールグリセリン注射液の製剤評価を目的とした放出試験装置の開発
薬剤学 54(2) : 111-116, 1994
- No. 5 原田 康, 武田光志, 幸田幸直, 相良悦郎 :
活性炭懸濁液の中毒薬物吸着能に及ぼす滅菌処理および長期保存の影響
病院薬学 20(3) : 225-229, 1994
- No. 6 宮本昌二, 幸田幸直, 鈴木 勝, 相良悦郎 :
調剤工程および包装材料への付着による薬剤損失
—フェニトイン製剤をモデル剤形にして—
病院薬学 20(4) : 315-320, 1994

総 説

- No. 1 番場和夫, 相良悦郎 :
筑波大学附属病院における抗生物質の使用状況
化学療法の領域 10(2) : 295-302, 1994
- No. 2 幸田幸直, 須賀 肇 :
他科で処方される薬剤とその相互作用, 在宅通院で用いられる抗癌剤との相互作用
臨床と薬物治療 13(7) : 786-788, 1994

学会発表

- No. 1 和田敦子, 須賀 肇, 佐藤信一, 幸田幸直, 相良悦郎 :
筑波大学附属病院における治験薬の動向
第4回茨城県薬剤師学会大会 (水戸), 2月, 1994
茨城県病院薬剤師会会報 No.44 : 42-44, 1994
- No. 2 宮本昌二, 鈴木 勝, 幸田幸直, 相良悦郎 :
調剤工程および包装材料への付着による薬剤の損失
日本薬学会第114年会 (東京), 3月, 1994
- No. 3 新井克明, 幸田幸直, 相良悦郎 :
薬剤の分包重量変動と吸収・消失速度の血中薬物濃度に及ぼす影響
—シミュレーションによる解析—
日本薬学会第114年会 (東京), 3月, 1994

- No. 4 馬場泰行, 住谷賢治, 堀内 学, 幸田幸直, 相良悦郎:
生体内分解性ペースト状ポリマーを素材とした徐放性製剤の試作
日本薬学会第114年会 (東京), 3月, 1994
- No. 5 堀内 学, 馬場泰行, 幸田幸直, 相良悦郎:
皮膚局所の疼痛除去を目的としたリドカインクリーム of 試作
第5回クリニカルファーマシーシンポジウム (松本), 6月, 1994
- No. 6 馬場泰行, 福崎裕延, 住谷賢治, 堀内 学, 幸田幸直, 相良悦郎:
生体内分解性ペースト状ポリマーを素材とした徐放性製剤の試作 (第2報)
第10回日本DDS学会 (東京), 7月, 1994
Drug Delivery System 9(4): 299, 1994
- No. 7 尾登 誠, 林 浩一郎, 天貝 均, 宮本芳明, 澤畑辰男, 相良悦郎, 番場和夫:
当院および当科における MRSA 感染の現状と抗生剤使用状況
第17回日本骨・関節感染症研究会 (東京), 7月, 1994
日本骨・関節感染症研究記録誌 8: 40-43, 1994
- No. 8 鈴木 勝, 宮本昌二, 幸田幸直, 相良悦郎:
調剤工程および包装材料への付着による薬剤の損失
—カプセル開封を伴う調剤—
日本病院薬剤師会関東ブロック第24回学術大会 (茨城), 8月, 1994

1995年（臨床薬剤学研究グループ）

原 著

- No. 1 幸田 幸直, 須賀 肇, 相良 悦郎, 柏木平八郎:
ロベンザリットニナトリウムによる腎障害
—自験三症例の報告と文献的考察—
日本医事新報 No. 3691: 43-48, 1995
- No. 2 Sato S, Baba Y, Tajima K, Kimura T, Tsuji MH, Kohda Y, Sato Y:
Prolongation of epidural anesthesia in the rabbit with the use of a biodegradable
copolymer paste containing lidocaine
Anesth Analg 80: 97-101, 1995
- No. 3 垣内 祥宏, 馬場 泰行, 堀内 学, 佐藤 信一, 幸田 幸直, 相良 悦郎,
永沼 利博, 岩井 美佐, 佐藤 重仁, 水山 和之, 内藤 裕史:
薬剤管理指導業務を志向した合同回診
日病薬誌 31(5): 597-599, 1995

総 説

- No. 1 幸田 幸直:
広範囲血液・尿化学検査, 免疫学的検査
—薬物分析検査, バルプロ酸—
日本臨床 53(増刊号, 上巻): 918-920, 1995

学会発表

- No. 1 馬場 泰行, 幸田 幸直, 相良 悦郎, 佐藤 重仁, 福崎 裕延:
生体内分解性ペースト状ポリマーを素材とした徐放性製剤の試作 (第3報)
日本薬学会第115年会 (仙台), 3月, 1995
- No. 2 馬場 泰行, 幸田 幸直, 相良 悦郎, 村山純一郎, 中村 和郎, 福崎 裕延:
生体内分解性ペースト状ポリマーを素材とした徐放性製剤の試作 (第4報)
第11回日本 DDS 学会 (広島), 7月, 1995
Drug Delivery System 10(4): 299, 1995
- No. 3 渋谷 文則, 嶋田 修治, 青山 隆夫, 中島 克佳, 中村 幸一, 伊賀 立二,
澤田 康文, 新井 克明, 幸田 幸直, 相良 悦郎, 宇田 明洋, 原田 保正:
遠隔地からの兵庫県南部地震災害救援医療団での薬剤師の活動
第5回日本病院薬学会年会 (東京), 7月, 1995
- No. 4 堀内 学, 馬場 泰行, 幸田 幸直, 相良 悦郎:
皮膚局所の疼痛緩和を目的としたリドカインクリーム調製
第5回日本病院薬学会年会 (東京), 7月, 1995
- No. 5 須賀 肇, 豊島 玲子, 佐藤 信一, 幸田 幸直, 相良 悦郎:
医薬品の発売地域と二次資料収載状況の関係
日本病院薬剤師会関東ブロック第25回学術大会 (千葉), 8月, 1995

No. 6 原田 康, 垣内 祥宏, 佐藤 信一, 幸田 幸直, 相良 悦郎:

調剤用麻薬返納の現状分析

日本病院薬剤師会関東ブロック第25回学術大会(千葉), 8月, 1995

その他

No. 1 幸田 幸直:

薬物相互作用, その服薬指導への活かし方

第13回昭和大学薬学部卒後教育セミナー(東京), 6月, 1995

No. 2 幸田 幸直:

薬の特性とその使い方, 相互作用

東京薬科大学第43回卒後教育講座(東京), 11月, 1995

1996年（臨床薬剤学グループ）

総説

No. 1 幸田 幸直：

ジゴキシンの血中濃度モニタリングと薬物相互作用

治療学 30(11)：1329-1330, 1996

学会発表

No. 1 垣内 祥宏, 幸田 幸直, 相良 悦郎, 佐藤 重仁：

舌鎮痛を目的として適用したキシロカインビスカスにより発現した中毒症状とその対策

日本薬学会第116年会（金沢），3月，1996

No. 2 Michiyo Ishizaki, Yukinao Kohda, Yasuyuki Baba, Hironobu Fukuzaki,
Etsuro Sagara：

Preparation of an oral mucoadhesive film using biodegradable copolymer

第12回日本 DDS 学会（京都），7月，1996

Drug Delivery System 11(4)：279, 1996

No. 3 幸田 幸直, 垣内 祥宏, 宮部 雅幸, 相良 悦郎：

硬膜外リドカイン持続注入麻酔時のリドカインおよびその代謝物の血中濃度測定

第6回日本病院薬学会年会（仙台），9月，1996

No. 4 佐藤 信一, 幸田 幸直, 相良 悦郎：

茨城県における薬学部学生の卒前病院実習の実施状況

第6回日本病院薬学会年会（仙台），9月，1996

No. 5 垣内 祥宏, 幸田 幸直, 相良 悦郎, 佐藤 重仁：

キシロカインビスカスの投与により発現した視覚異常と血中代謝物濃度との関連

第17回日本臨床薬理学会（東京），11月，1996

No. 6 小林 仁, 大島 宣雄, 幸田 幸直, 馬場 泰行, 相良 悦郎, 湯浅 宏, 尾関 哲也,
金谷 芳雄：

口腔粘膜への適用を目的にしたフィルム状製剤の開発

第17回日本臨床薬理学会（東京），11月，1996

No. 7 原田 彩織, 角田 肇, 幸田 幸直, 高橋 秀人, 加納 克己, 久保 武士：

G-CSF 市販前後の抗生物質使用頻度の変化

—婦人科癌における検討—

第2回日本薬剤疫学研究会（東京），11月，1996

その他

No. 1 幸田 幸直：

分科会, DI・試験研究

平成8年度国公立大学病院薬剤部職員研修（東京），5月，1996

No. 2 幸田 幸直：

薬の特性とその使い方：相互作用

東京薬科大学東薬会会報 No.346：41-48, 1996

No. 3 幸田 幸直：

薬物相互作用の機序

横浜市中区薬剤師会研修（横浜），9月，1996

1997年（臨床薬剤学グループ）

原 著

- No. 1 原田 彩織, 角田 肇, 幸田 幸直, 高橋 秀人, 加納 克己, 久保 武士
G-CSF 市販前後の抗生物質使用頻度の変化
—婦人科癌における検討—
薬剤疫学 2(1): 41-42, 1997
- No. 2 垣内 祥宏, 幸田 幸直, 相良 悦郎, 佐藤 重仁
リドカインを反復して口腔内適用した患者の視覚異常と活性代謝物の影響
臨床薬理 28(1): 301-302, 1997
- No. 3 小林 仁, 大島 宣雄, 幸田 幸直, 馬場 泰行, 相良 悦郎, 湯浅 宏, 尾関 哲也,
金谷 芳雄
口腔粘膜への適用を目的にしたフィルム状製剤の開発
臨床薬理 28(1): 407-408, 1997
- No. 4 原田 彩織, 角田 肇, 高橋 秀人, 幸田 幸直, 加納 克己, 久保 武士
好中球減少症性発熱と抗生物質の使用頻度を指標とした G-CSF 製剤の評価
—婦人科癌治療における検討—
臨床薬理 28(4): 767-775, 1997
- No. 5 Yukinao Kohda, Hitoshi Kobayashi, Yasuyuki Baba, Hiroshi Yuasa, Tetsuya Ozeki,
Yoshio Kanaya, Etsuro Sagara
Controlled release of lidocaine hydrochloride from buccal mucosa-adhesive films
with solid dispersion
International Journal of Pharmaceutics 158(2): 147-155, 1997
- No. 6 加藤 直人, 宮本 昌二, 佐藤 信一, 幸田 幸直, 相良 悦郎
錠剤の包装からの取り出し易さにおよぼす形状の影響
茨城県病院薬剤師会会報 No. 50・51: 85-87, 1997
- No. 7 番場 和夫, 林 昭弘, 佐藤 信一, 幸田 幸直, 相良 悦郎
医薬品回収措置の現状と対応
茨城県病院薬剤師会会報 No. 50・51: 88-92, 1997
- No. 8 須田 光明, 林 浩一郎, 青木 泰子, 中井 利昭, 沢畑 辰男, 相良 悦郎,
新井 克明
当院における黄色ブドウ球菌感受性の変遷
日本骨・関節感染症研究会雑誌 11: 95-98, 1997

総 説

- No. 1 幸田 幸直, 馬場 泰行
パルプロ酸投与と唾液腺型アミラーゼの上昇
日本醫事新報 No. 3842: 110, 1997
- No. 2 新井 克明, 幸田 幸直
抗不整脈薬の注意すべき副作用, 留意すべき相互作用
薬局 48(4): 601-608, 1997

著 書

- No. 1 小山 哲夫, 幸田 幸直 編 (清水直容, 南原利夫 監修)
「日常会話医療用語集」 第6版

ミクス, 東京, 1997

学会発表

- No. 1 加藤 直人, 宮本 昌二, 佐藤 信一, 幸田 幸直, 相良 悦郎

錠剤の包装からの取り出し易さにおよぼす形状の影響

第7回茨城県薬剤師学会 (水戸), 2月, 1997

- No. 2 番場 和夫, 林 昭弘, 佐藤 信一, 幸田 幸直, 相良 悦郎

医薬品回収措置の現状と対応

第7回茨城県薬剤師学会 (水戸), 2月, 1997

- No. 3 垣内 祥宏, 幸田 幸直, 相良 悦郎, 宮部 雅幸

乳幼児におけるリドカイン持続硬膜外麻酔時の血中代謝物濃度の予測

日本薬学会第117年会 (東京), 3月, 1997

- No. 4 Masayuki Miyabe, Yoshihiro Kakiuchi, Yukinao Kohda, Shigehito Sato,
Hidenori Toyooka

Plasma concentrations of lidocaine and its principal metabolite during continuous
caudal anesthesia in infants

International Anesthesia Research Society 71st Clinical and Scientific Congress
(San Francisco), 3月, 1997

Anesthesia & Analgesia 84(2S): S444, 1997

- No. 5 須田 光明, 林 浩一郎, 青木 泰子, 中井 利昭, 沢畑 辰男, 相良 悦郎,
新井 克明

当院における黄色ブドウ球菌感受性の変遷

第20回日本骨・関節感染症研究会 (大阪), 7月, 1997

- No. 6 垣内 祥宏, 幸田 幸直, 宮部 雅幸, 相良 悦郎

乳幼児におけるリドカイン持続硬膜外麻酔時の血中代謝物濃度に及ぼす血中 α_1 -酸性糖
蛋白濃度の影響

第7回日本病院薬学会 (名古屋), 9月, 1997

- No. 7 幸田 幸直, 住谷 賢治, 相良 悦郎

臨床実習としての薬剤部実習に対する医学生の評価

第7回日本病院薬学会 (名古屋), 9月, 1997

- No. 8 Masayuki Miyabe, Yoshihiro Kakiuchi, Yukinao Kohda, Shigehito Sato,
Hidenori Toyooka

Plasma lidocaine and MEGX during continuous epidural anesthesia in infants and
children

1997 Annual Meeting, American Society of Anesthesiologists (San Diego),
10月, 1997

Anesthesiology 87(3A): A792, 1997

1998年（臨床薬剤学グループ）

原 著

- No. 1 馬場 泰行, 坂本 岳志, 幸田 幸直, 猪股 伸一, 豊岡 秀訓, 相良 悦郎:
麻酔前投薬に用いる塩酸クロニジンキャンディーの調製と臨床効果
薬剤学 58(1):46-51, 1998
- No. 2 幸田 幸直, 住谷 賢治, 相良 悦郎:
医学専門学群4年生を対象とした薬剤部実習 —アンケート調査による評価—
病院薬学 24(3):259-265, 1998
- No. 3 Yukinao Kohda, Yoshihiro Kakiuchi, Masayuki Miyabe, Shigehito Sato,
Hidenori Toyooka, Etsuro Sagara:
Simultaneous determination of lidocaine and its deethyl-metabolites in plasma
and its application to drug level monitoring in infants
Journal of Applied Therapeutic Research 2(1):33-38, 1998
- No. 4 小山 完二, 幸田 幸直, 阿久沢 尚士, 小山 恭子, 後藤 勝年:
グルホシネートの薬物動態 —ウサギを用いた基礎的研究—
日本救急医学会雑誌 9(10):566-567, 1998
- No. 5 Masayuki Miyabe, Yoshihiro Kakiuchi, Shinichi Kihara, Shinji Takahashi,
Yukinao Kohda, Shigehito Sato, Hidenori Toyooka:
The plasma concentration of lidocaine's principal metabolite increases during
continuous epidural anesthesia in infants and children
Anesthesia & Analgesia 87(5):1056-1057, 1998
- No. 6 Yoshihiro Kakiuchi, Yukinao Kohda, Shigehito Sato, Soichiro Yamashita,
Etsuro Sagara:
Lidocaine metabolites and visual disorders
Journal of Applied Therapeutic Research 2(2):157-162, 1998

総 説

- No. 1 幸田 幸直:
新薬展望1998, 輸液製剤・経腸栄養剤
医薬ジャーナル 34(S-1):201-207, 1998
- No. 2 幸田 幸直:
薬物間相互作用の臨床, 抗てんかん薬
治療学 32(3):348-351, 1998

学会発表

- No. 1 広瀬 保夫, 小山 完二, 幸田 幸直, 小林 美穂, 田中 敏春, 本多 拓:
グルホシネート製剤経口中毒症例におけるグルホシネートの toxicokinetics の解析
第12回日本中毒学会東日本部会(東京), 1月, 1998
中毒研究 11(2):191-192, 1998

- No. 2 小山 完二, 幸田 幸直, 阿久沢 尚士, 小山 恭子, 後藤 勝年 :
ウサギにおけるグルホシネートの薬物体内動態
第12回日本中毒学会東日本部会(東京), 1月, 1998
中毒研究 11(2) : 192, 1998
- No. 3 馬場 泰行, 垣内 祥宏, 幸田 幸直, 相良 悦郎, 尾関 哲也, 湯浅 宏,
金谷 芳雄 :
粘膜付着性の放出制御型フィルムからのリドカインの放出
日本薬剤学会第13年会(甲府), 3月, 1998
- No. 4 坂本 岳志, 馬場 泰行, 幸田 幸直, 猪股 伸一, 豊岡 秀訓, 相良 悦郎 :
麻酔前投薬に用いる塩酸クロニジンキャンディーの調製と臨床効果
第7回クリニカルファーマシーシンポジウム(前橋), 6月, 1998
- No. 5 Kanji Koyama, Yukinao Kohda, Hisashi Akuzawa, Kyoko Koyama,
Katsutoshi Goto :
Toxicokinetics of glufosinate, an herbicide structurally analogous to glutamic acid, that causes severe CNS disorders in human acute oral poisoning
The International Congress of Toxicology (ICT)-VIII(Paris), 7月, 1998
Toxicology Letters 95(S1) : 140, 1998
- No. 6 馬場 泰行, 幸田 幸直, 猪股 伸一, 豊岡 秀訓 :
小児麻酔における塩酸クロニジンキャンディーの有用性
日本病院薬剤師会関東ブロック第28回学術大会(甲府), 8月, 1998
- No. 7 住谷 賢治, 幸田 幸直 :
医学専門学群4年生を対象とした薬剤部実習に対する学生の評価(第2報)
日本病院薬剤師会関東ブロック第28回学術大会(甲府), 8月, 1998
- No. 8 林 昭弘, 新井 克明, 佐藤 信一, 幸田 幸直 :
錠剤およびカプセル剤の包装変更の実状とその対応
第8回日本病院薬学会年会(横浜), 9月, 1998
- No. 9 吉田 直弘, 新井 克明, 幸田 幸直 :
抱水クロラール水溶液の安定性
第8回日本病院薬学会年会(横浜), 9月, 1998
- No. 10 坂井 みどり, 加藤 直人, 住谷 賢治, 須賀 肇, 幸田 幸直 :
治験薬の調剤における業務の改善
第8回日本病院薬学会年会(横浜), 9月, 1998
- No. 11 Masayuki Miyabe, Yoshihiro Kakiuchi, Yukinao Kohda, Shigehito Sato,
Hidenori Toyooka :
Plasma lidocaine and MEGX during continuous epidural anesthesia with and without epinephrine in children
1998 Annual Meeting, American Society of Anesthesiologists
(Orland), 10月, 1998
Anesthesiology 89(3A) : A879, 1998

1999年（臨床薬剤学グループ）

原 著

- No. 1 宮本 昌二, 鈴木 勝, 幸田 幸直 :
調剤工程および服用時の薬剤損失 —ジゴキシン製剤をモデルにして—
病院薬学 25 : 292-298, 1999
- No. 2 原田 康, 垣内 祥宏, 武田 光志, 佐藤 信一, 馬場 泰行, 幸田 幸直 :
調剤時に一回量包装されたメサラジン錠の着色とその安定性
病院薬学 25 : 399-406, 1999
- No. 3 垣内 祥宏, 馬場 泰行, 幸田 幸直, 堀 哲夫, 井上 成一朗, 本間 満子 :
タクロリムス散剤投与時の薬剤の損失—生体肝移植患者の TDM にあたって—
病院薬学 25 : 422-427, 1999
- No. 4 Hirose Y, Kobayashi M, Koyama K, Kohda Y, Tanaka T, Honda H, Hori Y,
Yoshida K, Kikuchi M :
A toxicokinetic analysis in a patient with acute glufosinate poisoning
Hum. Exp. Toxicol. 18 : 305-308, 1999
- No. 5 Kihara S, Miyabe M, Kakiuchi Y, Takahashi S, Fukuda T, Kohda Y, Toyooka H :
Plasma concentrations of lidocaine and its principal metabolites during continuous epidural infusion of lidocaine with or without epinephrine
Reg. Anesth. Pain Med. 24 : 529-533, 1999
- No. 6 馬場 泰行, 幸田 幸直, 猪股 伸一, 豊岡 秀訓 :
小児麻酔における塩酸クロニジンキャンディーの有用性
茨城県病院薬剤師会会報 No.54 : 55-56, 1999
- No. 7 住谷 賢治, 幸田 幸直 :
医学専門学群4年生を対象とした薬剤部実習に対する学生の評価（第2報）
茨城県病院薬剤師会会報 No.54 : 57-58, 1999
- No. 8 Kakiuchi Y, Kohda Y, Miyabe M, Momose Y :
Effect of plasma α_1 -acid glycoprotein concentration on the accumulation of lidocaine metabolites during continuous epidural anesthesia in infants and children
Int. J. Clin. Pharmacol. Ther. 37 : 493-498, 1999
- No. 9 三浦 朱美, 新井 克明, 林 昭弘, 佐藤 信一, 幸田 幸直
医薬品の包装変更の実状とその対応
茨城県病院薬剤師会会報 No.55 : 54-55, 1999

総 説

- No. 1 板垣 文雄, 幸田 幸直 :
胃炎（急性, 慢性）治療薬と患者への説明

薬局 50 : 465-473, 1999

No. 2 富田 隆, 幸田 幸直:

睡眠薬とその適応

薬局 50:1965-1970, 1999

学会発表

No. 1 三浦 朱美, 新井 克明, 林 昭弘, 佐藤 信一, 幸田 幸直:

医薬品の包装変更の実状とその対応

第9回茨城県薬剤師学術大会(水戸), 2月, 1999

No. 2 幸田 幸直, 原田 康, 垣内 祥宏, 武田 光志, 佐藤 信一, 馬場 泰行,
山本 由里子:

調剤時に一回量包装されたメサラジン錠の着色

日本薬剤学会第14年会(岡山), 3月, 1999

No. 3 垣内 祥宏, 幸田 幸直, 宮部 雅幸:

リドカイン持続硬膜外麻酔における血漿中リドカインおよびその活性代謝物濃度に及ぼすエピネフリン添加の影響

日本薬学会第119年会(徳島), 3月, 1999

No. 4 山本 由里子, 垣内 祥宏, 板垣 文雄, 加藤 茂, 佐藤 重仁, 幸田 幸直:

リドカインの非結合型分率および α_1 -酸性糖蛋白濃度がMEGX試験の成績に及ぼす影響

第16回日本TDM学会(横浜), 6月, 1999

No. 5 本田 智靖, 中島 光一, 東 治道, 飯盛 恵美子, 小山 完二, 幸田 幸直,
郡山 一明, 田勢 長一郎, 奥田 孝範, 阿久沢 尚士, 他:

バスタ液剤[®]経口中毒症例におけるグルホシネート (GLF) 体内動態の解析

第21回日本中毒学会総会(東京), 7月, 1999

中毒研究 12:468, 1999

No. 6 坂本 岳志, 新井 克明, 吉田 直弘, 佐藤 信一, 幸田 幸直:

施用記録票を用いた血漿分画製剤の管理

日本病院薬剤師会関東ブロック第29回学術大会(長野), 7月, 1999

No. 7 幸田 幸直, 垣内 祥宏, 板垣 文雄, 山本 由里子, 岩崎 信明, 長谷川 誠,
松井 陽:

フェニトイン中毒症例のTDM

第9回日本病院薬学会年会(札幌), 9月, 1999

No. 8 垣内 祥宏, 幸田 幸直, 上村 明, 宮部 雅幸:

小児におけるリドカイン硬膜外麻酔時のリドカインおよびその活性代謝物濃度におよぼす血中 α_1 -酸性糖蛋白濃度の影響

第9回日本病院薬学会年会(札幌), 9月, 1999

No. 9 板垣 文雄, 垣内 祥宏, 山本 由里子, 幸田 幸直:

蛍光偏光免疫測定キットにおけるトレーサーロット変更がシクロスポリン濃度測定に与える影響

第9回日本病院薬学会年会(札幌), 9月, 1999

No. 10 住谷 賢治, 馬場 泰行, 幸田 幸直:

院内製剤としての口腔内崩壊錠の調製

第9回日本病院薬学会年会(札幌), 9月, 1999

No. 11 飯盛 恵美子, 山田 嘉己, 井上 雅子, 東 治道, 本田 智靖, 中島 光一,
小山 完二, 幸田 幸直, 郡山 一明:

除草剤バスタの服毒症例におけるグルホシネート体内動態の解析

第9回日本病院薬学会年会(札幌), 9月, 1999

No. 12 塚本 晃子, 須賀 肇, 武田 光志, 佐藤 信一, 幸田 幸直, 久保田 眞矢:

筑波大学附属病院における院外処方箋発行の変遷

第10回茨城県薬剤師学術大会(水戸), 11月, 1999

No. 13 高橋 宏, 小山 完二, 幸田 幸直, 松宮 直樹, 戸谷 剛, 他:

バスタ[®]液剤経口中毒における血液浄化法の効果—グルホシネートの薬物体内動態から
みた症例検討—

第27回日本救急医学会総会(東京), 11月, 1999

日本救急医学会雑誌 10:553, 1999

その他

No. 1 幸田 幸直:

教育講演, TDM の臨床上での有用性

第22回日本 TDM 学会セミナー(前橋), 5月, 1999

2000年（臨床薬剤学グループ）

原 著

- No. 1 Homma M, Minami M, Taniguchi C, Oka K, Morita S, Niitsuma T, Hayashi T :
Inhibitory effects of lignans and flavonoids in saiboku-to, a herbal medicine for
bronchial asthma, on the release of leukotrienes from human polymorphonuclear
leukocytes.
Planta Med. 66(1) : 88-91, 2000
- No. 2 坂井みどり, 加藤 直人, 住谷 賢治, 須賀 肇, 幸田 幸直 :
治験実施計画遵守のための調剤手順の構築
日本病院薬剤師会雑誌 36(2) : 179-182, 2000
- No. 3 吉田 直弘, 新井 克明, 幸田 幸直 :
注腸投与を目的とした抱水クロラール水溶液の安定性
病院薬学 26(2) : 198-201, 2000
- No. 4 Hirano T, Tsuboi N, Homma M, Oka K, Takekoshi T, Tahara K, Takanashi H,
Abe H, Urata Y, Hayashi T :
Comparative study of lymphocyte-suppressive potency between prednisolone and
methylprednisolone in rheumatoid arthritis.
Immunopharmacol. 49(3) 411-417, 2000
- No. 5 鈴木 勝, 宮本 昌二, 幸田 幸直 :
調剤工程および包装材料への付着による薬剤損失—カプセル開封を伴う調剤—
日本病院薬剤師会雑誌 36(3) : 347-351, 2000
- No. 7 Fukuda T, Kakiuchi Y, Miyabe M, Okubo N, Yaguchi Y, Kohda Y, Toyooka H :
Plasma lidocaine, monoethylglycinexylidide, and glycinexylidide concentrations
after epidural administration in geriatric patients
Reg. Anesth. Pain Med. 25(3) : 268-273, 2000
- No. 6 板垣 文雄, 垣内 祥宏, 山本由里子, 幸田 幸直 :
蛍光偏光免疫測定キットにおけるトレーサーロット変更がシクロスポリン濃度測定に
与える影響
TDM 研究 17(3) : 303-307, 2000
- No. 8 Kihara S, Inomata S, Yaguchi Y, Toyooka H, Baba Y, Kohda Y :
The awakening concentration of sevoflurane in children
Anesth. Analg. 91(2) : 305-308, 2000
- No. 9 山本由里子, 垣内 祥宏, 板垣 文雄, 加藤 茂, 佐藤 重仁, 幸田 幸直 :
リドカインを用いた肝代謝能試験の成績におよぼすリドカインの蛋白結合率および α_1 -
酸性糖蛋白濃度の影響
TDM 研究 17(4) : 390-395, 2000
- No. 10 Inomata S, Kihara S, Yaguchi Y, Baba Y, Kohda Y, Toyooka H :
Reduction in standard MAC and MAC for intubation after clonidine premedica-
tion in children
Br. J. Anaesth. 85(5) : 700-704, 2000

- No. 11 住谷 賢治, 馬場 泰行, 猪股 伸一, 豊岡 秀訓, 幸田 幸直 :
麻酔前投薬に用いる塩酸クロニジン口腔内崩壊錠の調製と臨床評価
YAKUGAKU ZASSHI 120(7) : 652-656, 2000
- No. 12 Taniguchi C, Homma M, Takano O, Hirano T, Oka K, Aoyagi Y, Niitsuma T, Hayashi T :
Pharmacological effects of urinary products obtained after treatment with saiboku-to, a herbal medicine for bronchial asthma, on type IV allergic reaction.
Planta Med. 66(7) : 607-611, 2000
- No. 13 Hayashi S, Beckerman K, Homma M, Kosel BW, Aweeka FT :
Pharmacokinetics of indinavir in HIV-positive pregnant women.
AIDS 14(8) : 1061-1062, 2000
- No. 14 Homma M, Beckerman K, Hayashi S, Jayewardene A L, Oka K, Gambertoglio J G :
Liquid chromatographic determination of urinary 6 β -hydroxycortisol to assess cytochrome p-450 3A activity in HIV positive pregnant women
J. Pharm. Biomed. Anal. 23 : 629-635, 2000
- No. 15 本間 真人, 武田 光志, 山本由里子, 須賀 肇, 堀内 学, 佐藤 信一, 幸田 幸直 :
西洋オトギリソウ (St. John's Wort) と相互作用する薬剤を処方された外来患者に対する服薬指導と併用実態調査
YAKUGAKU ZASSHI 120(12) : 1435-1440, 2000
- No. 16 石原 三也, 宮本 昌二, 幸田 幸直 :
調剤用および服薬用ディスペンサーの計量精度
日本病院薬剤師会雑誌 36(12) : 1705-1707, 2000
- No. 17 坂本 岳志, 新井 克明, 吉田 直弘, 佐藤 信一, 幸田 幸直 :
専用処方せんと施用記録票を用いた血漿分画製剤の管理
日本病院薬剤師会雑誌 36(12) : 1723-1726, 2000

総 説

- No. 1 本間 真人 :
カリフォルニア大学サンフランシスコ校(UCSF)における Post Pharm D
プログラム (その1)
Clinical Pharmacist 32 : 16, 2000
- No. 2 幸田 幸直 :
TDM の臨床上での有用性
TDM 研究 17(3) : 237-240, 2000
- No. 3 本間 真人 :
カリフォルニア大学サンフランシスコ校(UCSF)における Post Pharm D
プログラム (その2)
Clinical Pharmacist 33 : 16, 2000

- No. 4 本間 真人, 幸田 幸直:
食品と医薬品—その適切な関わりとは,
食品と医薬品の薬物動態学的相互作用
臨床と薬物治療 19(9): 836-840, 2000
- No. 5 渡邊真知子, 幸田 幸直:
食品と医薬品—その適切な関わりとは,
サプリメントをよくとる人への指導
臨床と薬物治療 19(9): 850-854, 2000
- No. 6 幸田 幸直:
中毒治療に生かされる TDM
中毒研究 13(4): 371-377, 2000
- No. 7 山本由里子, 武田 光志, 佐藤 信一, 本間 真人, 幸田 幸直:
西洋オトギリソウ(St. John's Wort)の製品写真を用いた薬物相互作用の服薬指導
茨城県病院薬剤師会会報 No.57: 102-106, 2000
- No. 8 堀籠 大之, 本間 真人, 平野 俊彦, 岡 希太郎
薬物による11 β -HSD の調節と免疫細胞のアポトーシス
ホルモンと臨床 48(増刊号): 188-193, 2000

著 書

- No. 1 幸田 幸直:
ジゴキシン, ジギトキシン
検査値のみかた(中井利昭 編), 改訂2版
中外医学社, 東京, pp.1026-1028, 2000

学会発表

- No. 1 住谷 賢治, 馬場 泰行, 幸田 幸直, 猪股 伸一, 豊岡 秀訓:
麻酔前投薬に用いる塩酸クロニジン含有口腔内崩壊錠の調製と臨床評価
日本薬学会第120年会(岐阜), 3月, 2000
- No. 2 石原 三也, 宮本 昌二, 幸田 幸直:
調剤用および服薬用ディスペンサーの目盛精度
日本薬学会第120年会(岐阜), 3月, 2000
- No. 3 垣内 祥宏, 幸田 幸直, 宮部 雅幸:
乳幼児リドカイン持続硬膜外麻酔時の血漿中 α_1 -酸性糖蛋白濃度を指標としたリドカイン
活性代謝物濃度の予測
日本薬学会第120年会(岐阜), 3月, 2000
- No. 4 興石 徹, 本間 真人, 岡 希太郎, 沖田 美佐, 桜井かほり, 馬島 英輔,
小口 安美, 丸岡 教隆, 森田 園子, 露口 都子, 松村 康広, 新妻 知行, 林 徹:
気管支喘息患者の副腎皮質機能に及ぼす吸入ステロイド剤 Beclomethasone di-
propionate と Fluticasone propionate の比較
第63回東京医科大学・免疫アレルギー研究会(東京), 5月, 2000

- No. 5 垣内 祥宏, 幸田 幸直, 福田 妙子, 宮部 雅幸, 豊岡 秀訓:
老人における硬膜外麻酔時のリドカインとその活性代謝物の体内動態
ーリドカインの適正使用を目指してー
第8回クリニカルファーマシーシンポジウム(仙台), 7月, 2000
- No. 6 高橋絵里子, 恩田 健二, 本間 真人, 岡 希太郎, 松村 康広, 森田 園子,
新妻 知行, 林 徹, 小林 仁, 細田 順一:
気管支喘息患者の周術期管理に関する検討
第8回クリニカルファーマシーシンポジウム(仙台), 7月, 2000
- No. 7 工藤 寿美, 堀 哲夫, 金子 道夫, 岩川眞由美, 池袋 賢一, 雨貝 照祥,
瓜田 泰久, 井上成一朗, 的場 公男, 高田 泰次, 大塚 雅昭, 湯沢 賢治,
深尾 立, 遠藤 隆志, 中山 凱夫, 松井 陽, 垣内 祥宏, 幸田 幸直, 窪田 敬一,
河原崎秀雄:
生体部分肝移植手術後に大量の乳び腹水を認めた1例
第3回肝移植臨床検討会(東京), 7月, 2000
今日の移植 14(1):104-105, 2001
- No. 8 堀 寧, 小山 完二, 藤澤真奈美, 中嶋真理子, 嶋田 健次, 幸田 幸直, 広瀬 保夫,
阿久沢尚士:
グルホシネートのヒト血清蛋白結合
第22回日本中毒学会総会(広島), 7月, 2000
- No. 9 本間 真人, 幸田 幸直, 御滝 朋美, 山田 遊, 岡 希太郎:
腸内細菌での代謝を考慮した漢方薬成分の血中濃度解析モデルの構築
第6回白樺湖シンポジウム(千葉), 7月, 2000
- No. 10 高橋 昌也, 新井 克明, 佐藤 信一, 本間 真人, 幸田 幸直, 鈴木 勝:
錠剤・カプセル剤の包装への使用期限等の記載状況
日本病院薬剤師会関東ブロック第30回学術大会(東京), 8月, 2000
茨城県病院薬剤師会会報 No.58, 20-21, 2001
- No. 11 武田 光志, 石崎美智代, 須賀 肇, 佐藤 信一, 本間 真人, 幸田 幸直:
抗アレルギー剤服用患者の自動車運転に対する意識
日本病院薬剤師会関東ブロック第30回学術大会(東京), 8月, 2000
茨城県病院薬剤師会会報 No.58, 28-29, 2001
- No. 12 本間 真人, 山田 遊, 御滝 朋美, 岡 希太郎, 新妻 知行, 林 徹, 幸田 幸直:
小柴胡湯投与後のグリチルレチン酸およびフェノール性化合物の血中濃度解析
第17回和漢医薬学会大会(愛知県知多郡東浦町), 9月, 2000
- No. 13 馬場 泰行, 住谷 賢治, 猪股 伸一, 本間 真人, 豊岡 秀訓, 幸田 幸直:
小児における麻酔前投薬用塩酸クロニジン製剤の調製と臨床評価
第21回日本臨床薬理学会(札幌), 9月, 2000
臨床薬理 32(2):265S-266S, 2001
- No. 14 本間 真人, 興石 真, 前田 芳里, 興石 徹, 岡 希太郎, 幸田 幸直:
妊娠経過に伴うCYP3A 活性(6 β -hydroxycortisol/17-OHCS 比)の変動
第21回日本臨床薬理学会(札幌), 9月, 2000
臨床薬理 32(1):119S-120S, 2001

- No. 15 柳 健一, Thein Tun, Tun Aung, 谷口 英樹, 垣内 祥宏, 三好 浩稔,
高田 泰次, 幸田 幸直, 深尾 立, 大島 宣雄:
充填層型バイオ人工肝臓の開発—リアクタのスケールアップと性能評価—
第38回日本人工臓器学会(三重・四日市), 9月, 2000
人工臓器 29(3): S-142, 2000
- No. 16 山本由里子, 本間 真人, 武田 光志, 須賀 肇, 堀内 学, 佐藤 信一, 幸田 幸直:
外来患者を対象とした西洋オトギリソウ(St. John's Wort)薬物相互作用の服薬指導と
併用実態調査
第44回日本薬学会関東支部大会(船橋), 10月, 2000
- No. 17 板垣 文雄, 富田 隆, 垣内 祥宏, 山本由里子, 本間 真人, 幸田 幸直, 堀 哲夫,
金子 道夫:
生体肝移植患者における血中及び腹水中タクロリムス濃度
第10回日本病院薬学会年会(京都), 10月, 2000
- No. 18 富田 隆, 山本由里子, 板垣 文雄, 垣内 祥宏, 本間 真人, 幸田 幸直:
タクロリムス非服用患者末梢血にみられた MEIA 法と ELISA 法の交叉反応性
第10回日本病院薬学会年会(京都), 10月, 2000
- No. 19 本間 真人, 幸田 幸直, 富田 隆, 板垣 文雄, 垣内 祥宏, 新井 克明,
湯沢 賢治, 深尾 立:
ランソプラゾール併用によってタクロリムス血中濃度が上昇した腎移植症例
第36回日本移植学会総会(岐阜), 10月, 2000
- No. 20 Niitsuma T, Okita M, Sakurai K, Maruoka N, Hayashi T, Koshiishi T, Oka K,
Homma M:
Adrenal function assessed by low-dose ACTH test before and after switching
inhaled corticosteroid from beclomethasone (BDP) to fluticasone (FP).
XVII International Congress of Allergology and Clinical Immunology
(Sydney Australia), October, 2000
ACI International, Supplement 2: P-492, 2000
- No. 21 石崎美智代, 新井 克明, 高嶋 泰之, 石原 三也, 高橋 昌也, 飯島 一成,
佐藤 信一, 本間 真人, 幸田 幸直:
個別時系列管理によるタキソイド系抗悪性腫瘍薬の処方監査
第11回茨城県薬剤師学会大会(水戸), 12月, 2000
- No. 22 生田 裕子, 馬場 泰行, 須賀 肇, 佐藤 信一, 本間 真人, 幸田 幸直:
ジゴシン®エリキシル着色料の退色への対応
第11回茨城県薬剤師学会大会(水戸), 12月, 2000
- その他
- No. 1 山本由里子, 垣内 祥宏, 板垣 文雄, 加藤 茂, 佐藤 重仁, 幸田 幸直:
リドカインの非結合型分率および α_1 -酸性糖蛋白濃度が MEGX 試験の成績に及ぼす影
響
TDM 研究 17(2): 205-206, 2000

No. 2 塚本 晃子, 須賀 肇, 武田 光志, 佐藤 信一, 幸田 幸直, 久保田眞矢:

筑波大学附属病院における院外処方箋発行の変遷

茨城県病院薬剤師会会報 No.57, 28-30, 2000

No. 3 幸田 幸直:

薬剤による医療事故の予防

茨城県看護協会平成11年度看護婦職能研修会(水戸), 2月, 2000

2001 (臨床薬剤学グループ)

原 著

- No. 1 Horigome H, Homma M, Hirano T, Oka K. :
Glycyrrhetic acid induced apoptosis in murine splenocytes.
Biol. Pharm. Bull. 24(1) : 54-58, 2001
- No. 2 工藤 寿美, 堀 哲夫, 金子 道夫, 岩川 眞由美, 池袋 賢一, 雨海 照祥,
瓜田 泰久, 井上 成一郎, 的場 公男, 高田 泰次, 大塚 雅昭, 湯沢 賢治,
深尾 立, 遠藤 隆志, 中山 凱夫, 松井 陽, 垣内 祥宏, 幸田 幸直, 窪田 敬一,
河原崎 秀雄 :
生体部分肝移植手術後に大量の乳糜腹水を認めた 1 例
今日の移植 14(1) : 104-105, 2001
- No. 3 本間 真人, 興石 真, 前田 芳里, 興石 徹, 岡 希太郎, 幸田 幸直 :
妊娠経過に伴う CYP3A 活性 (6 β -hydroxycortisol/17-OHCS 比) の変動
臨床薬理 32(1) : 119S-120S, 2001
- No. 4 Horigome H, Homma M, Hirano T, Oka K, Niitsuma T, Hayashi T. :
Magnolol from *Magnolia officinalis* inhibits 11 β -hydroxysteroid dehydrogenase
without increases of corticosterone and thymocyte apoptosis in mice.
Planta. Med. 67(1) : 33-37
- No. 5 板垣 文雄, 湯沢 賢治, 富田 隆, 垣内 祥宏, 新井 克明, 本間 真人, 深尾 立,
幸田 幸直 :
ランソプラゾール併用によってタクロリムス血中濃度が上昇した腎移植症例の CYP2C19
遺伝子多型の解析
移植 36(2) : 145-149, 2001
- No. 6 Niitsuma T, Morita S, Hayashi T, Homma M, Oka K. :
Effects of absorbed components of saiboku-to on the release of leukotrienes from
polymorphonuclear leukocytes of patients with bronchial asthma.
Methods Find Exp. Clin. Pharmacol. 23(2) : 99-104, 2001
- No. 7 馬場 泰行, 住谷 賢治, 猪股 伸一, 本間 真人, 豊岡 秀訓, 幸田 幸直 :
小児における麻酔前投薬用塩酸クロニジン製剤の調製と臨床評価
臨床薬理 32(2) : 265S-266S, 2001
- No. 8 Homma M, Tanaka A, Hino K, Takamura H, Hirano T, Oka K, Kanazawa M,
Miwa T, Notoya Y, Niitsuma T, Hayashi T. :
Assessing systemic 11 β -hydroxysteroid dehydrogenase with serum cortisone/
cortisol ratios in healthy subjects and patients with diabetes mellitus and chronic
renal failure.
Metabolism 50(7) : 801-804, 2001

- No. 9 Hori Y, Koyama K, Fujisawa M, Nakajima M, Shimada K, Hirose Y, Kohda Y, Akuzawa H. :

Protein binding of glufosinate and factors affecting it revealed by an equilibrium dialysis technique.

J. Anal. Toxicol. 25(6) : 439-442, 2001

- No. 10 Aoki K, Homma M, Hirano T, Oka K, Satoh S, Mukasa K, Ito S, Sekihara H. :

MRNA and enzyme activity of hepatic 11beta-hydroxysteroid dehydrogenase type 1 are elevated in C57BL/KsJ-db/db mice.

Life Sci. 69(21) : 2543-2549, 2001

- No. 11 Inomata S, Tanaka E, Miyabe M, Kakiuchi Y, Nagashima A, Yamasaki Y, Nakayama S, Baba Y, Toyooka H, Okuyama K, Kohda Y.

Plasma lidocaine concentrations during continuous thoracic epidural anesthesia after clonidine premedication in children.

Anesth. Analg. 93(5) : 1147-1151, 2001

- No. 12 本間 真人, 幸田 幸直, 御滝 朋美, 山田 遊, 岡 希太郎 :

腸内細菌での代謝を考慮した漢方成分の血中濃度解析モデルの構築

Methods in Kampo Pharmacology 6 : 72-74, 2001

- No. 13 Itagaki F, Hori T, Tomita T, Kakiuchi Y, Yamamoto Y, Homma M, Kaneko M, Kohda Y. :

Effect of ascites on tacrolimus disposition in a liver transplant recipient.

Ther. Drug Monit. 23(6) : 644-646, 2001

総 説

- No. 1 板垣 文雄, 幸田 幸直 :

消化性潰瘍治療薬と患者への説明

薬局 52(増刊) : 755-765, 2001

- No. 2 幸田 幸直 :

相互作用・副作用回避のための TDM

内科 88(2) : 335-337, 2001

- No. 3 垣内 祥宏, 幸田 幸直 :

薬剤師による患者指導の実践, 糖尿病を合併する高脂血症患者への指導

薬局 52(10) : 2375-2379, 2001

- No. 4 Gordon S Sacks, (訳)渡邊 真知子, 本間 真人, 幸田 幸直 :

癌患者の栄養管理

臨床と薬物治療 20(12) : 1315-1321, 2001

著 書

- No. 1 幸田 幸直 :

抗真菌薬

薬の事典 (宮崎 利夫, 朝長 文彌 編),
朝倉書店, 東京, pp.539-544, 2001

学会発表

- No. 1 湯沢 賢治, 清野 研一郎, 谷口 英樹, 高田 泰次, 大塚 雅昭, 深尾 立,
本間 真人, 幸田 幸直, 板垣 文雄, 富田 隆, 垣内 祥宏:
腎移植患者における CYP2C19 遺伝子多型解析の意義
第34回日本腎移植臨床研究会(熱海), 1月, 2001
- No. 2 本間 真人, 岡 希太郎, 新妻 知行, 林 徹:
ロイコトリエン遊離に及ぼす柴朴湯体内移行成分の影響
第20回 漢方免疫アレルギー研究会学術集会(東京), 1月, 2001
- No. 3 本間 真人:
Pharmacogenomics は漢方に適合するか
第4回洋漢統合処方研究会(東京), 2月, 2001
- No. 4 垣内 祥宏, 福田 妙子, 宮部 雅幸, 本間 真人, 豊岡 秀訓, 幸田 幸直:
リドカイン持続硬膜外麻酔における遊離型リドカインおよび活性代謝物の体内動態
日本薬学会第121年会(札幌), 3月, 2001
- No. 5 松井 映子, 本間 真人, 三輪 隆, 佐藤 潤一, 稻垣 恒明, 能登谷 洋子, 林 徹,
細田 順一, 平野 俊彦, 岡 希太郎:
糖尿病合併高血圧におけるコルチゾール代謝の変動
日本薬学会第121年会(札幌), 3月, 2001
- No. 6 大山 彰裕, 本間 真人, 馬場 泰行, 住谷 賢治, 渡邊 真知子, 吉松 昌司,
石沢 美佳, 須磨崎 亮, 松井 陽, 幸田 幸直:
プレドニゾンとベクロメタゾン注腸剤の薬物動態を比較した潰瘍性大腸炎の一小児
例
日本薬学会第121年会(札幌), 3月, 2001
- No. 7 馬場 泰行, 生田 裕子, 大山 彰裕, 須賀 肇, 本間 真人, 幸田 幸直:
ジゴシン®エリキシル添加色素の退色とその対処方法
日本薬学会第121年会(札幌), 3月, 2001
- No. 8 板垣 文雄, 富田 隆, 本間 真人, 垣内 祥宏, 湯沢 賢治, 深尾 立, 幸田 幸直:
CYP2C19 遺伝子変異を有する腎移植患者におけるプロトンポンプ阻害薬と免疫抑制剤
の薬物相互作用
第18回日本 TDM 学会学術大会(東京), 6月, 2001
- No. 9 富田 隆, 本間 真人, 板垣 文雄, 山本 由里子, 垣内 祥宏, 湯沢 賢治,
深尾 立, 幸田 幸直:
MEIA 法を用いたタクロリムスモニタリングにおける偽陽性タクロリムス血中濃度
第18回日本 TDM 学会学術大会(東京), 6月, 2001
- No. 10 本間 真人:
漢方薬成分の体内動態に及ぼす新薬の影響
第52回日本東洋医学会学術総会(札幌), 6月, 2001

- No. 11 Itagaki F, Homma M, Yuzawa K, Fukao K, Kohda Y. :
Drug interaction of tacrolimus and proton pump inhibitors in renal transplant recipients with CYP2C19 gene mutation.
International Conference on Transplantation in NAGOYA 2001
The 6th Congress of the International Society for Organ Sharing
(Nagoya), July, 2001
- No. 12 本間 真人 :
腸内細菌での代謝を考慮した漢方成分の体内動態解析
第18回和漢医薬学会大会(富山), 8月, 2001
- No. 13 山本 由里子, 本間 真人, 幸田 幸直 :
添付文書におけるチトクローム p450 (CYP) に関する情報の記載状況
第11回日本医療薬学会年会(東京), 9月, 2001
- No. 14 垣内 祥宏, 宮部 雅幸, 雨海 照祥, 板垣 文雄, 富田 隆, 本間 真人,
豊岡 秀訓, 金子 道夫, 幸田 幸直 :
リドカイン持続硬膜外麻酔において代謝物 (MEGX) の生成量が異常に低い値を示した症例
第11回日本医療薬学会年会(東京), 9月, 2001
- No. 15 加藤 直人, 佐藤 信一, 本間 真人, 赤座 英之, 幸田 幸直 :
臨床試験における小児被検者を対象とした説明文書の問題点
第11回日本医療薬学会年会(東京), 9月, 2001
- No. 16 中川 励, 本間 真人, 垣内 祥宏, 久賀 圭祐, 山口 巖, 小林 大介, 森本 雍憲,
幸田 幸直 :
HPLCによる実用的 Flecainide 血中濃度測定法の検討
第11回日本医療薬学会年会(東京), 9月, 2001
- No. 17 柳本 寛子, 高嶋 泰之, 山元 照美, 白川 洋子, 伊本 夏樹, 堀 哲夫,
本間 真人, 松井 陽, 幸田 幸直 :
小児病棟におけるリスクマネージメントの薬剤師の関与
第11回日本医療薬学会年会(東京), 9月, 2001
- No. 18 大山 彰裕, 馬場 泰行, 本間 真人, 幸田 幸直 :
自動輸液混合装置 (Baxa MM12混注ポンプ) に連動させた注射薬監査支援システムの開発
第11回日本医療薬学会年会(東京), 9月, 2001
- No. 19 富田 隆, 板垣 文雄, 本間 真人, 幸田 幸直 :
CYP2C19遺伝子診断における allele specific polymerase chain reaction (ASPCR) 法の問題点
第11回日本医療薬学会年会(東京), 9月, 2001
- No. 20 生田 裕子, 馬場 泰行, 本間 真人, 幸田 幸直 :
ジゴシン®エリキシルの添加色素赤色3号の光分解とジゴキシン含量低下との関係
第11回日本医療薬学会年会(東京), 9月, 2001

- No. 21 板垣 文雄, 中村 泰子, 垣内 祥宏, 本間 真人, 堀 哲夫, 金子 道夫,
幸田 幸直:
小児生体肝移植患者におけるタクロリムスの TDM
第12回茨城県薬剤師学会大会(水戸), 11月, 2001
- No. 22 臼井 正幸, 吉久保 宏明, 井坂 光利, 垣内 祥宏, 馬場 泰行, 佐藤 信一,
本間 真人, 幸田 幸直:
赤色3号含有製剤の調剤および服薬指導の留意点
第12回茨城県薬剤師学会大会(水戸), 11月, 2001
- No. 23 堀内 学, 加藤 直人, 佐藤 信一, 本間 真人, 赤座 英之, 幸田 幸直:
漢方製剤のインタビューフォームにおける問題点
第12回茨城県薬剤師学会大会(水戸), 11月, 2001
- No. 24 石原 三也, 本間 真人, 久能 英子, 渡邊 真知子, 幸田 幸直:
腸内細菌叢に影響する薬剤と漢方薬の併用実態調査
第10回日本東洋医学会関東甲信越支部茨城県部会(つくば), 11月, 2001
- No. 25 堀内 学, 加藤 直人, 垣内 祥宏, 佐藤 信一, 本間 真人, 赤座 英之,
幸田 幸直:
漢方製剤の臨床試験概要書として用いるインタビューフォームの現状
第22回日本臨床薬理学会年会(横浜), 12月, 2001
- No. 26 住谷 賢治, 渡邊 真知子, 本間 真人, 馬場 泰行, 猪股 伸一, 豊岡 秀訓,
幸田 幸直:
小児麻酔前投薬に用いる塩酸クロニジンキャンディーの鎮静効果
第22回日本臨床薬理学会年会(横浜), 12月, 2001

学会発表 (2000年未掲載分)

- No. 1 Koyama K, Hiirose Y, Tase C, Kohriyama K, Ohashi N, Goto Ka, Okuda T,
Akuzawa H, Kohda Y, Goto Ky. :
Serum glufosinate level predicts severity of poisoning caused by the herbicide
containing glufosinate.
20th International Congress of European Association
of Poisons Centres and Clinical Toxicologist (Amsterdam), May, 2000
- No. 2 Koyama K, Hirose Y, Iimori E, Kohriyama K, Tase C, Kohda Y, Goto K. :
Toxicokinetics of glufosinate-analyses in 2 patients with acute oral BASTA
poisoning.
20th International Congress of European Association
of Poisons Centres and Clinical Toxicologist (Amsterdam), May, 2000

その他

- No. 1 高橋 昌也, 新井 克明, 佐藤 信一, 本間 真人, 幸田 幸直, 鈴木 勝:
錠剤・カプセル剤の包装への使用期限等の記載状況
茨城県病院薬剤師会会報 No.58:20-21, 2001

- No. 2 武田 光志, 石崎 美智代, 須賀 肇, 佐藤 信一, 本間 真人, 幸田 幸直:
抗アレルギー剤服用患者の自動車運転に対する意識
茨城県病院薬剤師会会報 No. 58: 28-29, 2001
- No. 3 小山 完二, 阿久沢 尚士, 幸田 幸直, 後藤 勝年:
グルホシネート含有除草剤の服毒中毒における血清グルホシネート濃度と重症化の関
連 —多施設における前向き調査—
平成10年度～平成12年度科学研究費補助金(基盤研究(c)(2)),
研究成果報告書, 3月, 2001
- No. 4 石崎 美智代, 新井 克明, 高嶋 泰之, 石原 三也, 高橋 昌也, 飯島 一成,
佐藤 信一, 本間 真人, 幸田 幸直:
個別時系列管理によるタキソイド系抗悪性腫瘍薬の処方監査
茨城県病院薬剤師会会誌 43(2): 167-168, 2001
- No. 5 生田 裕子, 馬場 泰行, 須賀 肇, 佐藤 信一, 本間 真人, 幸田 幸直:
ジゴシン®エリキシル着色料の退色への対応
茨城県病院薬剤師会会誌 43(2): 137-138, 2001
- No. 6 住谷 賢治, 馬場 泰行, 幸田 幸直:
院内製剤としての口腔内崩壊錠の調製
筑波大学分析センター報告2000: 33-34, 2001
- No. 7 幸田 幸直:
オキサゾリジン系合成抗菌薬をめぐる話題
日本短波放送, 薬学の時間, 7月, 2001
- No. 8 幸田 幸直:
なぜ TDM が必要なのか?
第2回抗不整脈薬 TDM 研究会(浜松), 12月, 2001
- No. 9 本間 真人, 幸田 幸直:
UV 検出器を用いたフレカイニドの逆相 HPLC
第2回抗不整脈薬 TDM 研究会(浜松), 12月, 2001

2002年（臨床薬剤学グループ）

原 著

- No. 1 Homma M, Itagaki F, Yuzawa K, Fukao K, Kohda Y :
Effects of lansoprazole and rabeprazole on tacrolimus blood concentration : Case
of a renal transplant recipient with CYP2C19 gene mutation.
Transplantation 73(2) : 303-304, 2002
- No. 2 住谷 賢治, 渡邊 真知子, 本間 真人, 馬場 泰行, 猪股 伸一, 豊岡 秀訓,
幸田 幸直 :
小児麻酔前投薬に用いる塩酸クロニジンキャンディーの鎮静効果
臨床薬理 33(1) : 83S-84S, 2002
- No. 3 堀内 学, 加藤 直人, 垣内 祥宏, 佐藤 信一, 本間 真人, 赤座 英之,
幸田 幸直 :
漢方製剤の臨床試験概要書として用いるインタビューフォームの現状
臨床薬理 33(1) : 49S-50S, 2002
- No. 4 高野 操, 木下 節子, 高橋 秀人, 幸田 幸直, 岡 慎一 :
血友病/HIV-1 感染者の生存時間と多剤併用療法導入後の臨床経過に関する追跡調査
—非血友病/HIV-1 感染者との比較—
感染症学雑誌 76(3) : 203-211, 2002
- No. 5 山本 由里子, 本間 真人, 幸田 幸直 :
添付文書における CYP 分子種情報の記載状況
医薬ジャーナル 38(4) : 171-177, 2002
- No. 6 富田 隆, 本間 真人, 板垣 文雄, 山本 由里子, 垣内 祥宏, 湯沢 賢治,
深尾 立, 幸田 幸直 :
MEIA 法を用いたタクロリムスモニタリングにおける偽陽性タクロリムス血中濃度
TDM 研究 19(2) : 123-124, 2002
- No. 7 板垣 文雄, 富田 隆, 本間 真人, 垣内 祥宏, 湯沢 賢治, 深尾 立, 幸田 幸直 :
CYP2C19 遺伝子変異を有する腎移植患者におけるプロトンポンプ阻害剤と免疫抑制剤
の薬物相互作用
TDM 研究 19(2) : 125-126, 2002
- No. 8 高嶋 泰之, 小池 美智代, 新井 克明, 本間 真人, 幸田 幸直 :
タキシド系抗悪性腫瘍剤の適正管理のための使用実態調査
医療薬学 28(4) : 327-330, 2002
- No. 9 高橋 昌也, 新井 克明, 本間 真人, 鈴木 勝, 佐藤 信一, 幸田 幸直 :
錠剤・カプセル剤の包装への使用期限の表示と品質保証に関する調査
医療薬学 28(2) : 172-175, 2002
- No. 10 Yaguchi Y, Inomata S, Kihara S, Baba Y, Kohda Y, Toyooka H :
The reduction in minimum alveolar concentration for tracheal extubation after
clonidine premedication in children.
Anesth. Analg. 94(4) : 863-866, 2002

- No. 11 Homma M, Tomita T, Yuzawa K, Takada Y, Kohda Y :
False positive blood tacrolimus concentration in microparticle enzyme immuno-
assay
Biol. Pharm. Bull. 25(8) : 1119-1120, 2002
- No. 12 Miyabe M, Kakiuchi Y, Inomata S, Ohsaka Y, Kohda Y, Toyooka H :
Epinephrine dose not reduce the plasma concentration of lidocaine during continu-
ous epidural infusion in children.
Can. J. Anaesth. 49(7) : 706-710, 2002
- No. 13 石原 三也, 本間 真人, 久能 英子, 渡邊 真知子, 幸田 幸直 :
腸内細菌叢に影響する薬剤と漢方薬の併用実態調査
YAKUGAKU ZASSHI 122(9) : 695-701, 2002
- No. 14 板垣 文雄, 本間 真人, 富田 隆, 湯沢 賢治, 深尾 立, 幸田 幸直 :
CYP2C19 遺伝子変異を有する腎移植患者におけるプロトンポンプ阻害剤と免疫抑制剤
の薬物相互作用
TDM 研究 19(4) : 338-342, 2002
- No. 15 Itagaki F, Homma M, Yuzawa K, Fukao K, Kohda, Y :
Drug interaction of tacrolimus and proton pump inhibitors in renal transplant
recipients with CYP2C19 gene mutation
Transplant. Proc. 34(7) : 2777-2778, 2002
- No. 16 Kakiuchi Y, Fukuda T, Miyabe M, Homma M, Toyooka H, Kohda Y :
Chromatographic determination of free lidocaine and its active metabolites in
plasma from patients under epidural anesthesia.
Int. J. Clin. Pharmacol. Ther. 40(11) : 493-498, 2002
- No. 17 Nakagawa R, Homma M, Kuga K, Yamaguchi I, Kobayashi D, Morimoto Y,
Kohda Y :
High performance liquid chromatography for routine monitoring of serum
flecainide
J. Pharm. Biomed. Anal. 30(1) : 171-174, 2002
- No. 18 高嶋 泰之, 馬場 泰行, 大野 国弘, 本間 真人, 長澤 勲, 幸田 幸直 :
NaU DSP® を用いた製品規格の選択最適化プログラムによる薬剤費の削減
薬剤疫学 7(S) : 50S-51S, 2002
- No. 19 中川 励, 本間 真人, 久賀 圭祐, 山口 巖, 小林 大介, 森本 雍憲, 幸田 幸直 :
頻脈性不整脈におけるフレカイニド有効血中濃度の検討
医薬ジャーナル 38(11) : 3063-3067, 2002
- No. 20 本間 真人 :
漢方薬と西洋薬の薬物相互作用 漢方薬成分の体内動態に及ぼす新薬の影響
日本東洋医学雑誌 52(4,5) : 443-481, 2002

原 著 (2001年未収載分)

- No. 1 本間 真人, 岡 希太郎, 新妻 知行, 林 徹:
ロイコトリエン遊離に及ぼす柴朴湯体内移行成分の影響
漢方と免疫アレルギー 15:38-47:2001

総 説

- No. 1 板垣 文雄, 石原 三也, 幸田 幸直:
不整脈治療薬と患者への説明
薬局 53(増刊):564-575, 2002
- No. 2 幸田 幸直:
知っておきたい拮抗薬, 処置薬の使い方「医療の不確実性の再認識」
臨床と薬物治療 21(6):554-556, 2002
- No. 3 井上 洋一, 本間 真人, 幸田 幸直:
知っておきたい拮抗薬, 処置薬の使い方「薬疹とステロイド」
臨床と薬物治療 21(6):570-573, 2002
- No. 4 垣内 祥宏, 幸田 幸直:
知っておきたい拮抗薬, 処置薬の使い方「タバコ誤飲・誤食と催吐剤トコン」
臨床と薬物治療 21(6):583-586, 2002

著 書

- No. 1 Bellibas S E, Homma M, Aweeka F:
Antiretroviral therapy: adverse effects and drug interactions
Management of the HIV-Infected Patient SECOND EDITION:97-116, 2002
- No. 2 本間 真人:
薬剤管理指導業務の実際, わかりやすい調剤学第4版(岩川 清吾, 河島 進, 安原 真人, 横山 照由 編),
廣川書店, 東京, pp. 333-341, 2002

学会発表

- No. 1 Homma M:
Pharmacokinetic investigation of active ingredients in herbal remedies
The 75th Annual Meeting 日本薬理学会(Kumamoto) March:2002
- No. 2 中川 励, 本間 真人, 久賀 圭祐, 山口 巖, 小林 大介, 森本 雍憲, 幸田 幸直:
頻脈性不整脈におけるフレカイニド有効血中濃度の検討
日本薬学会第122年会(幕張)3月:2002
- No. 3 本間 真人:
漢方薬の薬物速度論解析
日本薬学会第122年会(幕張)3月:2002
- No. 4 石原 三也, 本間 真人, 久能 英子, 渡邊 真知子, 幸田 幸直:
腸内細菌叢に影響する薬剤と漢方薬の併用実態調査
日本薬学会第122年会(幕張)3月:2002

- No. 5 高橋 昌也, 馬場 泰行, 石岡 聰, 横山 雄高, 本間 真人, 幸田 幸直:
注射薬処方監査支援システム (Mac-PIAS) の開発 (第2報)
日本薬学会第122年会(幕張) 3月: 2002
- No. 6 板垣 文雄, 柳本 寛子, 本間 真人, 中嶋 玲子, 須摩崎 亮, 松井 陽,
幸田 幸直:
潰瘍性大腸炎の病状変化に伴うシクロスポリン体内動態の変動
第19回日本 TDM 学会学術大会(熊本) 5月: 2002
- No. 7 本間 真人:
和漢薬活性成分の体内動態と Pharmacogenomics
第53回日本東洋医学会学術総会(名古屋) 5月: 2002
- No. 8 Homma M, Matsui E, Oka K, Miwa T, Kanazawa M, Notoya Y, Niitsuma T,
Hayashi T, Kohda Y:
Altered 6β -hydroxycortisol/cortisol ratio in diabetes mellitus.
14th International Symposium on Microsomes and
Drug Oxidations (Sapporo) July: 2002
- No. 9 富田 隆, 本間 真人, 高田 泰次, 湯沢 賢治, 幸田 幸直:
貧血を伴った生体肝移植症例におけるヘマトクリット値の変動と偽陽性タクロリムス
濃度
第10回クリニカルファーマシーシンポジウム(千葉) 7月: 2002
- No. 10 高嶋 泰之, 馬場 泰行, 大野 国弘, 本間 真人, 長澤 勲, 幸田 幸直:
NaU DSP[®] を用いた製品規格の最適化プログラムの試作
第10回クリニカルファーマシーシンポジウム(千葉) 7月: 2002
- No. 11 垣内 祥宏, 高橋 伸二, 本間 真人, 宮部 雅幸, 佐藤 重仁, 豊岡 秀訓,
幸田 幸直:
吸入麻酔薬のリドカイン血中濃度に及ぼす影響
第10回クリニカルファーマシーシンポジウム(千葉) 7月: 2002
- No. 12 高橋 昌也, 馬場 泰行, 本間 真人, 幸田 幸直, 石岡 聰, 横山 雄高:
注射薬処方監査支援システム (Mac-PIAS) の評価(第3報)
日本病院薬剤師会関東ブロック第32回学術大会(横浜) 8月: 2002
- No. 13 本間 真人, 田辺 正樹, 小宅 典子, 幸田 幸直:
芍薬甘草湯による横紋筋融解症の一例
第12回日本医療薬学会年会(福岡) 10月: 2002
- No. 14 馬場 泰行, 高嶋 泰之, 大野 国弘, 本間 真人, 長澤 勲, 幸田 幸直:
NaU DSP[®] による薬剤取り揃えの最適化と医療費に及ぼす影響
第12回日本医療薬学会年会(福岡) 10月: 2002
- No. 15 高嶋 泰之, 馬場 泰行, 大野 国弘, 本間 真人, 長澤 勲, 幸田 幸直:
NaU DSP[®] を用いた製品規格の選択最適化プログラムによる薬剤費の削減
第8回日本薬剤疫学会学術総会(東京) 11月: 2002
- No. 16 石原 三也, 本間 真人, 幸田 幸直:
腸内細菌叢に影響する薬剤と漢方薬の併用実態調査 (第二報)
日本東洋医学会関東甲信越支部第11回茨城県部会学術集会(つくば) 11月: 2002

- No. 17 板垣 文雄, 本間 真人, 湯沢 賢治, 幸田 幸直:
 タクロリムスとプロトンポンプ阻害剤の相互作用に及ぼす CYP2C19 と MDR1 遺伝子型の影響
 第17回日本薬物動態学会年会(東京)11月:2002
- No. 18 土岐 浩介, 金子 あき, 馬場 泰行, 本間 真人, 佐藤 信一, 幸田 幸直:
 ベンゾジアゼピン系睡眠薬の使用実態調査
 第13回茨城県薬剤師学会(水戸)12月:2002
- No. 19 山城 智美, 本間 真人, 石川 智景, 坂井 みどり, 石原 三也, 高嶋 泰之, 幸田 幸直:
 各種睡眠薬に対する入院患者の意識
 第13回茨城県薬剤師学会(水戸)12月:2002
- No. 20 細野 浩之, 垣内 祥宏, 本間 真人, 幸田 幸直, 赤座 英之:
 治験薬管理における治験薬の使用期限の問題点
 第23回日本臨床薬理学会(大阪)12月:2002
- No. 21 住谷 賢治, 本間 真人, 馬場 泰行, 猪股 伸一, 豊岡 秀訓, 幸田 幸直:
 小児に対する塩酸クロニジン口腔内崩壊錠の鎮静効果とクロニジン血中濃度
 第23回日本臨床薬理学会(大阪)12月:2002
- No. 22 本間 真人, 井上 洋一, 松崎 靖司, 柴田 実, 三田村 圭二, 田中 直見, 幸田 幸直:
 リバビリンとインターフェロン併用療法における血漿および赤血球内リバビリン濃度
 第23回日本臨床薬理学会年会(大阪)12月:2002
- その他
- No. 1 幸田 幸直:
 臨床の現場から問題点を探し出し解決できる能力をもつ薬剤師の養成をめざして
 Pharmacy Today 15(1):18-21, 2002
- No. 2 幸田 幸直:
 「統薬薬連携」～医薬品とサプリメントの相互作用～
 特別講演:サプリメントと医薬品, その服薬指導のポイント
 第16回 KANAZAWA Pharmaceutical Care 研究会(金沢), 2月:2002
- No. 3 本間 真人:
 CYP を介した薬物相互作用
 第17回つくば臨床薬剤セミナー(つくば), 2月:2002
- No. 4 幸田 幸直:
 医療過誤防止と薬剤部の役割, シンポジウム「医療提供機能の充実・発展させるための薬剤業務の改善について」
 平成14年度 国公立大学病院薬剤部職員研修(東京)5月:2002
- No. 5 本間 真人:
 CYP を介した薬物相互作用
 石岡市薬剤師会集合研修会(石岡), 5月:2002

- No. 6 幸田 幸直：
経皮吸収型エストラジオール製剤をめぐる話題
日本短波放送，薬学の時間，6月：2002
- No. 7 幸田 幸直：
筑波大学附属病院の医療安全対策
日本短波放送，薬学の時間，8月：2002
- No. 8 本間 真人：
役に立つ漢方・生薬の知識 新薬と漢方薬の併用
日本漢方協会第16回漢方特別講座(東京)，8月：2002
- No. 9 臼井 正幸，吉久保 宏明，井坂 光利，垣内 祥宏，馬場 泰行，佐藤 信一，
本間 真人，幸田 幸直：
赤色3号含有製剤の調剤および服薬指導時の留意点
茨城県病院薬剤師会会誌 44(2)：115-116，2002
- No. 10 堀内 学，加藤 直人，佐藤 信一，本間 真人，赤座 英之，幸田 幸直：
漢方製剤のインタビューフォームにおける問題点
茨城県病院薬剤師会会誌 44(2)：109-110，2002
- No. 11 幸田 幸直：
特別講演：筑波大学病院における薬剤師病棟活動，その問題点について
東京薬科大学第20回製剤研究会(東京) 10月：2002
- No. 12 本間 真人：
漢方を科学する
常総漢方入門セミナー(茨城)10月：2002
- No. 13 本間 真人：
IFN・リバビリンの併用療法の基礎と臨床 ―リバビリンの赤血球内蓄積―
第34回日本肝臓病学会東部会イブニングセミナー(つくば)11月：2002
- No. 14 幸田 幸直：
歯科治療に影響を与える医薬品
横浜市中区歯科医師会平成14年度第3回学術講演会(横浜)12月：2002